

事業報告書

1 眼球登録管理事業

角膜移植を推進するため、眼球を提供いただける方 853名の登録を行い、アイバンク登録票を発行した。

2 角膜移植推進事業

(1) 角膜の斡旋業務

ライオンズクラブ（献眼委員・アイバンクサポーター）、医療機関（摘出医、主治医、院内コーディネーター）、信大医学部（眼科学教室）、検査機関等連携のもと、角膜の斡旋を行った。

献眼者 17名 角膜あっせん数 35件

(2) 角膜移植の推進体制の充実

ア 眼球摘出セットの貸与・配置

医療機関に貸与のほか、3ライオンズクラブ（松本深志、飯田、佐久）に暫定配置。

イウ 眼球搬送箱の管理

49箇所に配置している眼球搬送箱の薬剤の管理を行った。

(3) ライオンズクラブ会議への参加

- ・ライオンズクラブ国際協会334-E 地区年次大会

3 臓器移植啓発普及事業

(1) 臓器移植推進のパンフレットの配布、献眼啓発DVD「ヒ・カ・リ」の上映などライオンズクラブ等の協力を得て各地域のイベントなどで行った。

(2) 表彰等 (敬称略)

ア 理事長の感謝状贈呈

- ・献眼者（ご遺族） 17名
- ・献眼業務を的確に処理されたライオンズクラブ等
岡谷ライオンズクラブ
佐久ライオンズクラブ

藤島元広（伊那ライオンズクラブ）

・多額の寄付をされた地区ガバナー

ライオンズクラブ国際協会334-E地区

イ 摘出協力病院への礼状

ウ 献眼者家族への礼状

（4）関係諸団体との情報交換

（公財）日本アイバンク協会などの会議等に出席した。